

経営比較分析表（令和元年度決算）

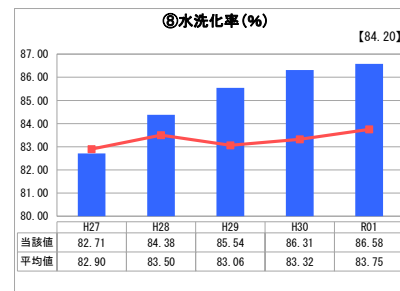
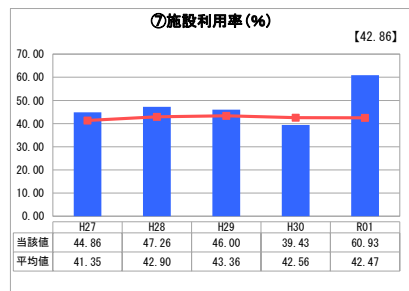
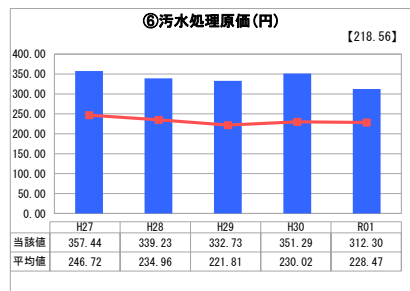
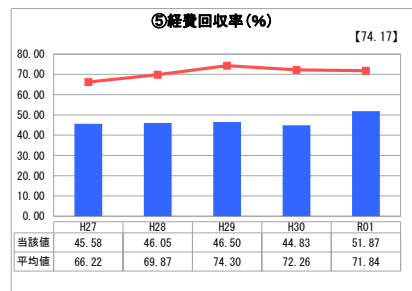
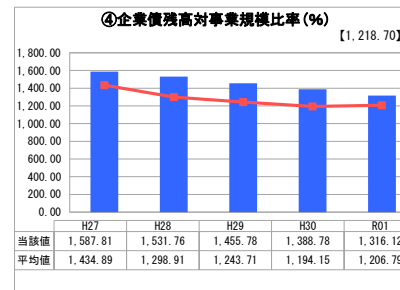
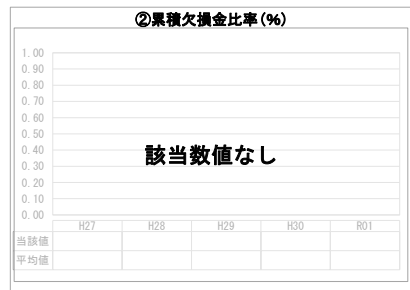
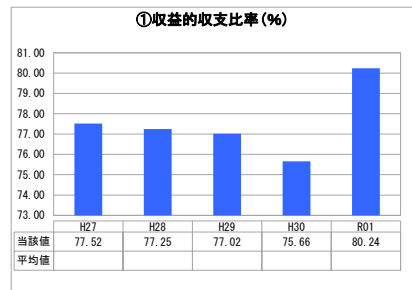
岡山県 新見市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	21.94	97.07	3,270

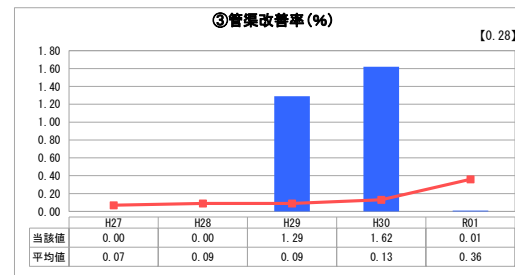
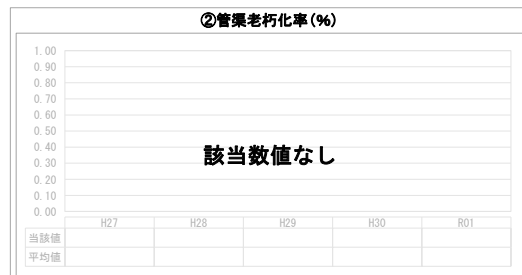
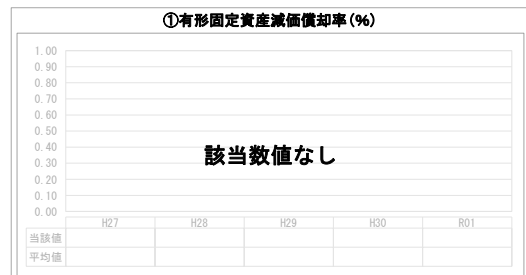
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,069	793.29	36.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,317	2.57	2,457.98

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が100%を割り込む赤字経営となっている。
 企業債残高対事業規模比率や汚水処理原価は全国平均を上回り、経費回収率は全国平均より低くなっているが、新見市は山間部に位置しており、人口密度が低いと管路延長が長く、地形に高低差がありマンホールポンプなどの設備も多いと、事業規模に対し割高な資本費に伴う企業債償還が影響していると考えられる。また、下水道使用料単価が安価なことも、影響していると考えられる。
 水洗化率や施設利用率は全国平均を上回っているが、人口減少や節水意識の向上もあり、計画流入量に達していない。

2. 老朽化の状況について

施設は比較的新しく、管渠については当面改修・更新等の必要はないが、処理場については長寿命化計画に基づき、電気設備の更新を進めている。

全体総括

収益的には赤字であり、施設効率の改善、水洗化率の向上、適正な下水道使用料に改定を行うことが必要である。
 なお、施設効率の改善策として、平成30年度に近接する公共下水道との統合を行った。
 また、今後「下水道事業ストックマネジメント計画」を策定し、効率的な施設更新に取り組む事としている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。